



男鹿南ぐるおがる (GLOGAL)



1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた弛まぬ授業改善 男鹿で学ぶ

- ① ICT、AIドリルの効果的な活用
- ② 学習内容定着の確実な見届け

2 男鹿を存分に生かしたNS-netカリキュラム開発 男鹿に生きる

- ① NS-net探究課題、学習課題の男鹿密着型への転換
- ② 男鹿の本物に関わる直接体験の充実

3 生まれた町で生徒が活躍する活動の展開 男鹿に貢献する

- ① CSと南中生が共につくる地域貢献活動の実施
- ② 南中生の作品や活動する姿を積極的に地域に提示

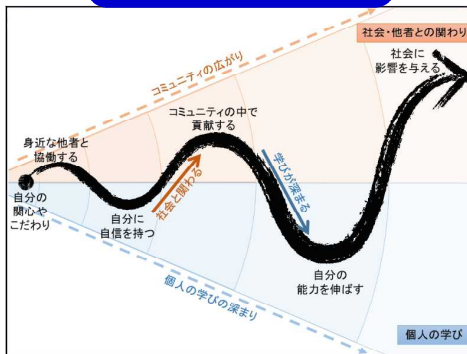
ぐるおがる (GLOGAL) とは？

ぐるおばる = **global** (世界的な)
 ぐるお = **grow** (育つ)
 おが = **oga** (男鹿)
 ろおがる = **local** (地元)
 おがる = 秋田弁で、成長する、
 大きくなるの意

GLOGAL

※教育課程全体に、男鹿の素材に触れたり、関わったりする活動を取り入れることにより醸成される「男鹿(oga)のよさ」の実感を基盤に、地元(local)でも世界(global)でも活躍できる力を備える生徒を育てる(grow)ことを目指す、男鹿南中版ふるさとキャリア教育の総称。

「ぐるおがる」学びのイメージ



*ヘネッセ教育研究所「アクティブ・ラーニングを活用した指導と評価研究」における「これからの学びのプロセス」より